

区分・種別	県指定史跡		
名称	えばらじょうあと 荏原城跡		
所在地	松山市恵原町		
所有者	諏訪神社ほか	管理団体	
指定年月日	昭和25年10月10日		
解説	<p>荏原城跡は、重信川の支流御坂川<small>みさかがわ</small>に沿う恵原<small>えばら</small>の平坦地に築かれた中世の平城<small>ひらじろ</small>の遺跡で、恵原城、会原城、棚居城、平岡城などの別名がある。</p> <p>築城の年代は不明であるが、建武2（1335）年から同3年にかけて、忽那氏<small>くつな</small>が「会原城」で戦った記録が『忽那一族軍忠次第』にある。</p> <p>戦国時代末期、河野氏の重臣平岡氏の居城となり、土佐からの侵入を防ぐ拠点であったが、天正13（1585）年豊臣秀吉の四国統一により、湯築城主河野通直<small>こうのみちなお</small>がその軍門に降り、荏原城も平岡道倚<small>ひらおかみちより</small>を最後の城主として廃城となった。</p> <p>城跡は方形の平地で、高さ5mほどの土塁を周囲に築き、その外側に堀をめぐらせている。堀の幅は北側20m、西と東は14m、南は10mで、長さは東西130m、南北120mである。土塁の内側に居館が構築されていたものと思われるが、現在は畑、山林となっている。また土塁には石積がなく、矢竹が植えられている。</p>		

